



# 淡路島の海人と地域間交流

## ～5世紀の倭王権・播磨・出雲～ シンポジウム



現在、兵庫県立歴史博物館ひょうご歴史研究室・淡路島日本遺産委員会・島根県古代文化センターは、古墳時代の淡路島と、出雲を含む他地域との交流の歴史について、共同して研究しています。シンポジウムでは、その成果を考古学と文献史学の両面にわたり発表、討議します。

▲慶野松原の上空から雨流遺跡と木戸原遺跡を望む(南あわじ市教育委員会提供)

(2019) 平成31年 2月2日 土

午後1時～午後4時30分

開場：正午

先着順・250名

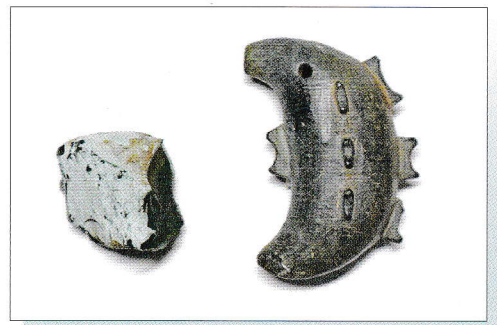
入場無料

会場／南あわじ市福良地区公民館講堂

(兵庫県南あわじ市福良甲512-2 TEL.0799-50-3048)



- アクセス**
- バス** ● 神戸三宮バスターミナル、または「高速舞子バス停」から、福良行き高速バスに乗り、「福良」で下車(三宮から約1時間30分、高速舞子から約1時間。会場へ徒歩5分)
  - 島内路線バスも「福良」で下車
  - 車** ● 神戸淡路鳴門自動車道・西淡三原ICで降りて約20分
  - 淡路島南ICで降りて約15分
  - 約100台駐車可



▲雨流遺跡出土の碧玉原石と子持勾玉(古墳時代/兵庫県立考古博物館蔵)

プログラム

- 講演①** 池淵 俊一 (島根県教育庁文化財課)  
「出雲の淤宇宿禰・野見宿禰伝承と倭王権」
- 講演②** 的崎 薫 (南あわじ市教育委員会埋蔵文化財調査事務所)  
「南あわじ市の木戸原遺跡・雨流遺跡の調査成果とその意義」

パネルディスカッション

池淵 俊一・的崎 薫・伊藤 宏幸(淡路市教育委員会)  
古市 晃(客員研究員/神戸大学)

司会コーディネーター 中村 弘 (兵庫県教育委員会事務局文化財課)  
坂江 渉 (ひょうご歴史研究室)

主催／兵庫県立歴史博物館ひょうご歴史研究室  
淡路島日本遺産委員会

構成団体：  
洲本市・洲本市教育委員会・南あわじ市・南あわじ市教育委員会・  
淡路市・淡路市教育委員会・淡路県民局・(一財)淡路島くにうみ協会・  
(一社)淡路島観光協会・(一社)淡路青年会議所

共催／島根県教育委員会